

概要

私は2021年8月24、25、31、9月1日の4日間、智頭町おせっかい奨学生インターンプロジェクトに参加しました。大学卒業後、私がお世話になった智頭町で町の方々のために働きたいと考えていました。その際に今回のインターンシップの募集が告知され、地域に寄り添った業務をされている智頭町役場の仕事を知りたいと考え、参加させていただきました。これからそれぞれの日程ごとに行ったことを紹介していきます。

8月24日

午前中はふるさと定住機構に伺いました。多くの就活生のサポートをされてきた中で二年生の私が、就活を終えた際に後悔をしないために今からどのようなことを行っていたらよいのか、アドバイスをいただきました。

午後には実際に役場の公務員試験の二次試験に行われるグループディスカッションの模擬体験をさせていただきました。自分と役場職員の4名の方と出された3つの議題を話し合い、國岡課長と米本参事に講評をいただきました。

景気が下がる傾向にある現状で、私が就職活動をする頃には就職難の傾向になることが予想されます。その際にはどのような思いで仕事をしたいのか一つの軸を持つことが大切であると感じました。グループディスカッションでは意見がまとまりにくい議題内容に対してはゴールを定めておくこと、自分の考えの根拠を持つことが今後の課題であると考えました。

8月25日

午前中は智頭町の業務等についてお話を聞きました。現在の智頭町の財政状況は依存財源の割合が高く、自主財源の割合をどのように増やしていくか考えていくことが必要であると分かりました。各課では様々な事業に取り組んでおり、それぞれの事業に予算が充てられていることを知りました。智頭図書館から石谷家住宅までの智頭みちの散策を行いました。

午後は「studio-L」との智頭町総合計画ワークショップ研修に参加をさせていただきました。理想のシニアマップ、ライフステージに合わせた事業の内容の見直し、修正などの話し合いを行いました。

現在の智頭町人口減少は止めることはできない中で幸せな人口減少を目指すために財政状況の改善を含めて様々な取り組みを行われているのかを知ることができた。特に町民の健康診査の受診率が少ないことには驚きました。病気の早期発見、早期治療によって町民の健康と共に病院の経営の安定を目指すことができるので、検診を受けない理由を町民の方からお話を聞き検診をしようと思える体制を作ることが大事であると考えました。その一つの方法として、将来シニアライフを送る世代に理想のシニアライフマップを通した活動

をすることで、長く健康に理想の生活をするために健康管理の意識付けをすることが可能となり、将来的な健康診断の受診率の向上につなげることができると考えました。

8月31日

午前中は金児町長、矢部副町長、長石教育長の三方と面接をさせていただきました。約30分の間に事前に作成、提出した履歴書、自己紹介書を基に質問をしていただき、最後に講評をいただきました。その後、午後の話し合いに向けて石谷家住宅を見学しました。

午後は「スターパイロット」との石谷家住宅改修に向けた会議に参加させていただきました。大規模改修を行う期間、改修が完了するまでを見せる広報としてどのようにしていけば良いのかを話し合いました。

面接では様々な問題点を指摘していただき、多くの課題を見つけることができました。その中で特に感じたことは私の情報量があまりにも足りないことを感じました。どの企業でも面接の際に聞かれる質問に対して答えることができませんでした。面接は自己アピールをする場であることを意識することが大切だと考えました。「スターパイロット」との会議でも自分の伝えたいことをはっきりと伝えるために声の大きさ、知識を養成していくことが必要であると感じました。

9月1日

午前中はとっとり信用金庫智頭支店でお話を聞きました。信用金庫はどのような業務を行い、地域の方々からの相談、金融商品の提案をしているのか業務全般の内容を知ることができました。

午後はこの4日間の活動のレポートを作成しました。

まとめ

世の中の公務員に対してのイメージは堅い、まじめなどが挙げられ関わりを持つことが難しいとされている現状があります。私も公務員は地域の方に寄り添った仕事をされている一方でこのようなイメージを持っていました。今回のインターンシップを通して公務員のイメージが大きく変わりました。確かにまじめであるという点では町民の問い合わせに丁寧に答え、地域や企業との話し合いを行っており、イメージ通りであると感じました。しかしながらお堅いというイメージは今回のインターンシップでは全く感じませんでした。石谷家住宅を訪問した際には出会った地域の方々と楽しくお話をされていました。昼食、夕食ではいろいろな方とご一緒させていただきました。その際にも私に仕事に関してや他にもいろいろなお話をさせていただきました。今回のインターンシップは身構え、緊張をすることなく(面接はとても緊張しましたが)楽しく取り組むことができました。同時に自分自身の課題が多く発見できました。この中でコミュニケーション能力はこれからの学校生活の中で他の学生と協力する活動でいかに取り組みやすい環境を作っていくのか、多くの人が参加しやすい環境を作るのか様々な手法を考えていきたいと考えました。

最後に、金児町長、矢部副町長、長石教育長、酒本企画課長、松村企画課長補佐を始めと

インターンシップレポート

竹田 伊織

した智頭町役場さん、そしてとっとり信用金庫智頭支店さん、鳥取ふるさと定住機構さんなど多くの方のご協力があって今回の貴重なインターンシップをさせてもらうことができました。ありがとうございました。